

第二期5か年計画

(期間 令和2～6年度)

令和2年4月1日

大湊地区まちづくり協議会

1 会長挨拶

大淵地区まちづくり協議会会長 夏目正二

平成27年3月に大淵地区まちづくりの5か年計画が作成されました。5年が経過した令和2年度の本日、皆様に第2期の5か年計画を発表できることを本当にうれしく思っています。この5年間で「誰もが安全で安心して住みたくなるまちの実現」に向けての活動が皆様のご協力で、定着してきたと考えています。区長会、専門委員会が中心になり、ご長寿をお祝いする会や秋の祭典合同式典の開催、更には産業廃棄物最終処分場設置反対活動、有害鳥獣対策委員会設置、フェスタおおぶちの開催等を行って来る事が出来ました。

第二期5か年計画の作成に当たっては多くの方々にご協力を頂きありがとうございました。皆様から出された大淵地区の問題点とその対策をそのまま4～6ページに掲載しました。課題が多くある中で「まち協活動の拠点整備（幼稚園跡地利用）」「人材バンクの整備」「子供が増える環境作り支援」の3つを新規事業として取り組む事といたしました。

まちづくり協議会には皆様の知識や経験が活かせる場があります。5年後のよりよいまち大淵の実現に向け、積極的なご参加ご協力をお願い致します。

2 策定経緯

- ① 5月7日 理事会 進め方について
- ② 6月3日(月) 理事会 地区全体の問題点と方策を話し合う
- ③ 7～12月 各区、各委員会で、問題点と方策を話し合う。

区	開催日	区	開催日	専門委員会	開催日	専門委員会	開催日
野賀区	7/27(土)	東大谷区	7/16(火)	地域活性化	8/23(金)	保健	7/17(水)
新井区	7/6(土)	野中区	8/3(土)	防災防犯	10月	福祉	8/15(木)
中新井区	8/25(日)	藤塚区	7/14(日)	交通安全	12月	有害鳥獣	9/17(火)
岡原区	8/18(日)	雨垂区	7/24(水)	教育文化	9/10(火)		
浜区	8/22(木)			スポーツ	8/17(土)		

- ④ 7月28日 拡大理事会
青年、中老、PTA、女性部、老人会毎のグループで、問題点の抽出と方策案を話し合う。
- ⑤ 8～2月 問題点と方策を取りまとめ、5か年計画原案作成、検討修正、次期計画へ反映
(各委員会、企画部会、理事会)
- ⑥ 2月16日 拡大理事会 青年、中老、PTA、女性部、老人会へ計画説明する
- ⑦ 3月24日 理事会 5か年計画承認 & 次年度計画への反映

3 大淵地区の基礎データ (大淵地区人口・世帯等の推移)

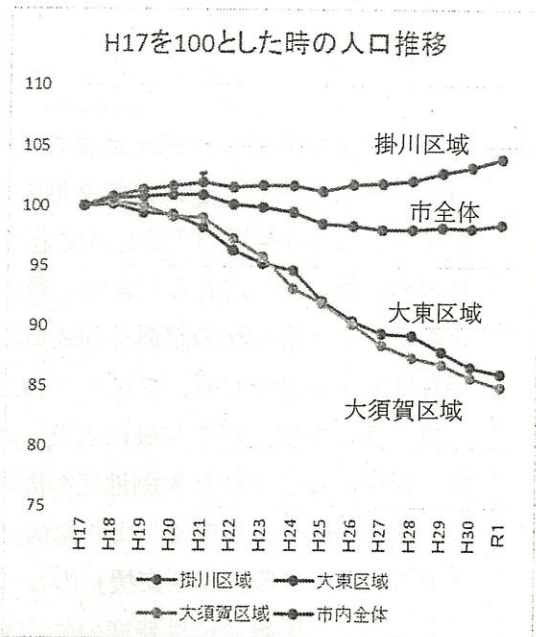
1 人口の推移 (人)

年 度	H17	R1	R1-H17
掛川区域	84,075	87,388	3,313
大東区域	22,837	19,677	△ 3,160
大須賀区域	12,827	10,913	△ 1,914
(大淵地区)	3,844	3,331	△ 513
市内全体	119,739	117,978	△ 1,761

※数値は、毎年年度末人口を記載(外国人含む)

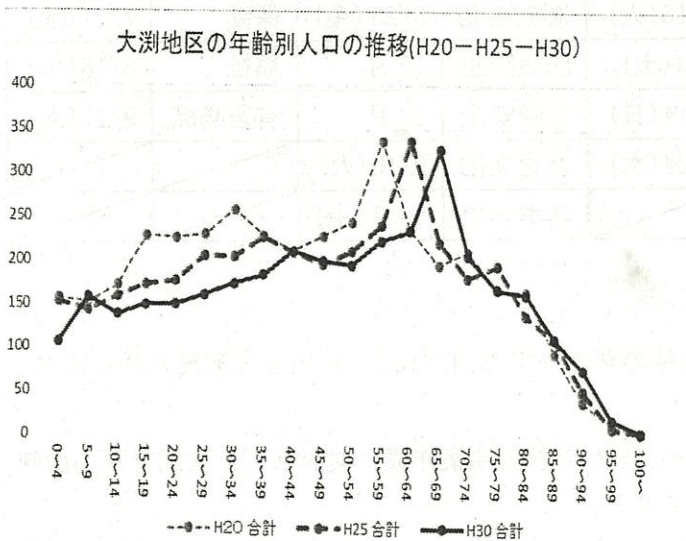
年 度	H17	R1	R1-H17
掛川区域	100	104	4
大東区域	100	86	△ 14
大須賀区域	100	85	△ 15
(大淵地区)	100	87	△ 13
市内全体	100	99	△ 1

掛川地区の人口は4%増(3,313人)、大東地区は14%減(3,160人)、大須賀地区は15%減(1,914人)、大淵地区は13%減(513人)、市の周辺部での人口減少が進んでいる。

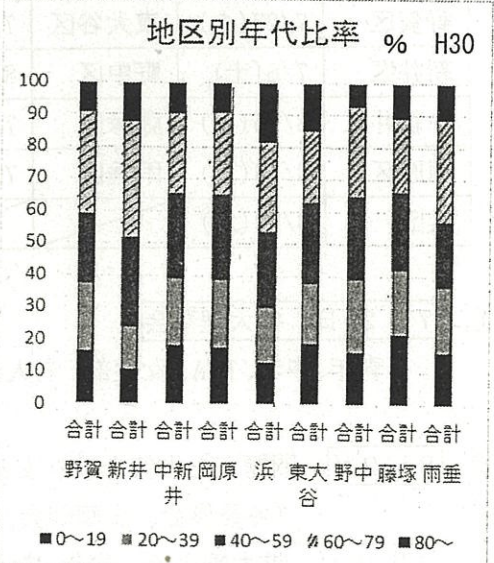


2 年齢別人口

20年代別人口比 (%)	H30								
	野賀	新井	中新井	岡原	浜	東大谷	野中	藤塚	雨垂
0~19	16	11	19	18	13	19	17	22	16
20~39	21	13	20	21	17	18	22	20	20
40~59	22	28	27	26	24	25	26	24	20
60~79	32	36	25	25	28	22	28	23	32
80~	9	12	10	9	18	15	7	11	11



15-34までの若い年代が少なくなっている。最も人口が多い65-69歳の世代が、5年後過ぎには後期高齢者に入ってきて、一層高齢者の比率が多くなっていく。

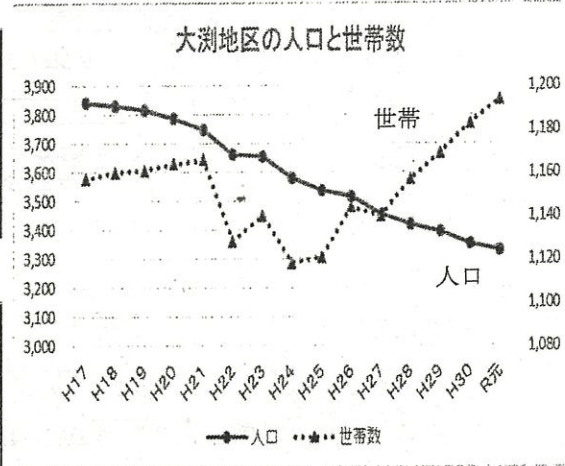


地区別の年代別比率を見ると、80歳以上は浜、東大谷で多く、60-79歳は新井、野賀、雨垂が多い。

3 世帯数の推移

合併後の地区別世帯数の推移(外国人を含む)

区分	掛川市	大須賀区域	大渚地区
H31.3.31	44,372	4,003	1,194
H17.4.1	38,670	3,950	1,157
増減数	5,702	53	37
増減率	115%	101%	103%



合併後の地区別世帯数の推移(日本人のみ)

区分	掛川市	大須賀区域	大渚地区
H31.3.31	42,358	3,851	1,161
H17.4.1	36,084	3,687	1,085
増減数	6,274	164	76
増減率	117%	104%	107%

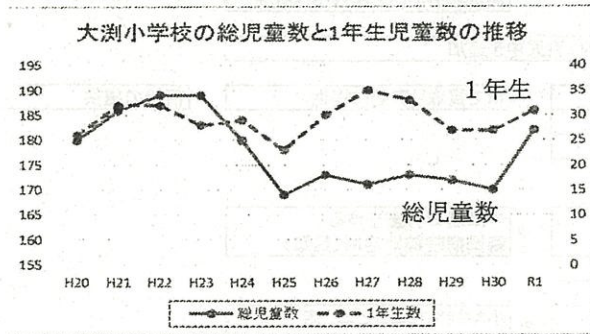
(参考)

	大渚地区自治会 加入世帯数	野賀	新井	中新井	岡原	浜	東大谷	野中	藤塚	雨垂
H31	826	83	68	61	80	126	31	225	66	86
H21	855	86	74	62	83	129	33	230	70	88
増減	△ 29	△ 3	△ 6	△ 1	△ 3	△ 3	△ 2	△ 5	△ 4	△ 2
%	97%									

大渚地区の人口は少なくなっているが、世帯数は増えている(アパートの増)。自治会に入会している世帯は減っている。

4 大渚小学校の総児童数と1年生児童数の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
総児童数	180	186	189	189	180	169	173	171	173	172	170	182
1年生数	26	32	32	28	29	23	30	35	33	27	27	31



大渚小学校の総児童数はH25-H30に減少したが、R1年では10年前と同等になっている。1年生でみると増減があるが、減ってはいない。

5 空き家状況

令和1年5月予備調査 掛川市 1,480軒 大渚地区 65軒

6 有害鳥獣捕獲の状況

年度	イノシシ		その他		合計	
	大須賀	大渚	大須賀	大渚	大須賀	大渚
H29	78	データなし	5	データなし	83	
H30	188	84	24	13	212	97
R1(4月-2月)	234	108	42	23	276	131

5か年計画のための意見集約表

各区、各委員会等から出た意見のまとめ

<資料1>

(新たな対応)

問題点	対策	まち協の活動として	
1 人口減少	子供が少ない → 子供を増やす 子育てしやすい環境づくり	出産祝い金(2,3子) 児童手当の増 教育の無償化 子ども食堂(有志などで週1回でも) 土日の保育所を整備 親が病気の時の買物代行	学童保育の場提供検討 幼稚園跡地の活用
	独身が多い → 結婚支援	出逢いの場づくり	出逢いの場づくり検討
	区の運営困難(人、金) 区の共同作業大変 祭、区の付き合い濃すぎ → 地元出身者を戻す 互助活動の見直し		地域企業との連携検討
2 若者の転出	働く場がない → 希望が持てる社会作り	働く場提供、企業の誘致 特産品づくり、PR 名所づくり(花など)、PR 田舎暮らしのPR ロケ誘致	地域企業との連携検討
	宅地にしにくい → 同居への誘導 宅地転用しやすくする	入居家族に助成金 三世帯同居へ交付金	
	祭の運営が大変 → 区全体での祭運営 祇里の台数を減らす 祭を無くす	中老、老人会も協力し運営 2区合同など アイクのお披露目なくす	
	消防団員の減少 → 分団員を減らす		
3 高齢化	一人暮らしの老人増加 → 見守りの充実	隣同士の確認、声かけ 民生・福祉委員の活動充実	民生・福祉委員の活動充実
	高齢者の生きがいづくり → サークル、出逢いの場づくり サロン活動の活発化 老人用ウォーキングコースを作って		サロン活動の充実
	高齢者介護がたいへん → 介護相談をしやすく 土日にも相談できるように 高齢者も歩いて相談できる場 老人ホーム入居優先条件に育児中を追加		
4 空き家が多い	景観悪い 空き巣入りやすい → 空き家の貸出 空き家の整備 税金の見直し(空き宅地)	市で買取り安価に提供	情報の提供
5 病院が少ない	病院が遠い 地域内に病院がない → 病院誘致	中東遠の分室を作る 森岡病院跡地活用(誘致)	
6 店が少ない	食べ物屋がない 近くにコンビニがない カフェが欲しい → 店の誘致、斡旋	小学校前にコンビニ、店 新設出店舗に補助金	
	とくし丸の利用 サンサンファームを応援 朝市(トラック市) 老人会で経営する		
7 交通が不便	免許返納できない 公共交通が少ない 買物通院が不便 → バス・タクシーの充実	OKバスの便・駐車場を増加 路線バスを運くまで運行 福祉バスの運行 公共バス増設、低廉化 近くの店にも行けるデマンド	OKバス等利用促進検討
8 荒地が多い	農業後継者がいない → 後継者の確保		
	草刈り大変 荒地の火災が心配 → 定期的に改善の呼びかけ		
9 空地が多い	土地の有効活用	農地の斡旋 土地利用の提案募集 空き地に花を植える 農転出来るようにする 宅地を増やして 市有地を公園に	

10 有害鳥獣
11 コミュニケーション不
つながり
いい
12 伝統行事の
継承が難し
13 歴史の記
14 集える公園
がない
15 地区活動
のわり希薄
16 役員・ボラ
ティア不足
17 まち協行事
の参加者
18 区長会とま
19 地元企業と
20 生活費の不
安
災害・地震
津波の心配

資料	問題点	対策	まち協の活動として
10	有害鳥獣問題 イノシシの増加 ハクビシ、アナグマ増加 狩猟免許者不足	電気柵の補助推進 檻、わなの増加 問題意識・対策の啓発 各区確保	有害鳥獣対策活動の強化 各地区1名以上を
11	コミュニケーション不足 (つながり薄い) 相談先がわからない 同じ趣味の者を探せない 老人会に入る人少ない あいさつが出来ない子供 地域活動の衰退 町全体のイベントが無くなった (ドッチボール大会、駅伝)	IT化 趣味活動・グループの活発化 サロンへ誘う あいさつ運動 各地区のレクリエーション実施 大洲全体の行事を増やす	新たなイベントの開催 駅伝の復活 フェスタおおぶちの充実 趣味活動の促進 サロン活動の充実
12	伝統行事の継承が難しい さなぶり、祭典、念仏 子供が少ない	伝統行事を学ぶ機会を増加	歴史ウォークの充実 学習会の検討・実施 グループの活発化
13	歴史の記憶が残されていない	対策チームを作る	
14	集える公園がない 安全に遊ぶ場がない 井戸端会議が出来る場がない 公園が狭い 遊具が少ない 公園にトイレがない	大洲に目玉を作る 「(びあ)公園、たまりーなのような物」 幼稚園跡地の有効活用	中新井池、新井池の公園化 若い人が集まる公園作り 若い人が集まるカフェ カフェを(集う場) 児童館や学童施設の設置
15	地区活動関わり希薄 共同作業の参加少ない 自治会参加意識が薄い	参加呼びかけ・意識付け	
16	役員・ボランティア不足 役員になりたがらない 行事や市の仕事が多すぎ	重荷にならない活動 仕事を減らす(増やさない) 人材バンク(名簿作り) ボランティア団体へ依頼	事業の見直し IT化 人材バンクの整備
17	まち協行事の参加者少 若者の参加が少ない 意見が出ない 福祉懇談会出席者少ない	フェスタおおぶち定着 企画部会の充実 テーマを絞って会議する	フェスタおおぶちの継続 企画部会の充実
18	区長会とまち協の役割・分担が理解されていない		若い世代に区長を
19	地元企業との連携不良		フェスタおおぶちに企業PR
20	生活費の不安 お茶の価格下落 親の介護費 年金支給額減	不安を無くす活動	お茶対策案の募集
21	災害・地震・津波の心配 原発の心配 避難場所が遠い 幼保併設区王貝のおはな、避難場所 土地の評価が低下 避難場所体験がない 防災訓練が真剣でない 非常の水の確保 備蓄不足(毛布など) 簡易トイレ等の整備 緊急時の公会堂機能不備 停電復旧が遅い 停電時に信号が消える ブロック塀が多い 企業の災害対策は 女性の防災対策の遅れ 大型の緊急車両が集落に入れない 同報が聞き難い(大東と被る)	堤防の完成 命山が欲しい(雨垂) 幼保の場所再検討 原発反対、再エネ促進 夏休み等で避難場所訓練 具体的な対策マニュアル化を 公会堂の機能強化 停電時にも信号点灯を 企業との話し合い 先進地視察	太陽光など発電設備 夏休み等で避難場所訓練 布団を集めて真空パック保存 女性防災委員設置 <市へ要望> <市へ要望> <市へ要望>

	問題点	対策	まち協の活動として		
22	交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 歩道がない、狭い(藤塚他) 側溝に蓋がない(雨垂他) 自転車道がない 信号機、ガードレール不足 カーブミラーなし(見通し悪い) 止まれない交差点ある 県道69号線の車速早い 笠南道路危険、車速早い 大洲2号線の交通量多い 信号を避け、近道する車危険 ダンプの通行多い 高齢者の運転危険 	<ul style="list-style-type: none"> 整備計画作り、計画的に整備 県道の南北に散歩道欲しい カーブミラーの増設 速度制限(50km→40km) 交通規制 高齢者講習を受けてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> <市へ要望> 警察等へ要望 通学時間帯に警察官配置を要望 	<ul style="list-style-type: none"> 警察との連携
23	防犯対策の不足	<ul style="list-style-type: none"> 不審者情報多い 道路暗く不安 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路にカメラ設置 青パト見守り隊推進 防犯灯の設置 	<ul style="list-style-type: none"> <市へ要望> 	<ul style="list-style-type: none"> 青パトの強化
24	子供の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 校門がフリーパス 不審者が心配 通学路が危険 子ども園設置と交通安全 	<ul style="list-style-type: none"> 門にインターフォンを設置 通学路の見直し 街灯、歩道の整備 	<ul style="list-style-type: none"> PTAで検討 一方通行にする 	<ul style="list-style-type: none"> 学校との連携
25	女性部問題	<ul style="list-style-type: none"> 女性部の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 女性部の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 女性部の仕事を各組に配分 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍の場を拡大模
26	老人会問題	<ul style="list-style-type: none"> 老人会組織減少 市運を辞めたら人員増 若い人が入らない 役員のなり手が無い 大須賀苑の草取りが大変 敬老会は各地区で 地区サロンと老人会活動重複 	<ul style="list-style-type: none"> まち協が音頭をとり、組織化や連絡会設置を 楽しいイベントを増やす 市老連だけでなく、9区で分担 敬老会の在り方検討 		
27	PTA問題	<ul style="list-style-type: none"> なかなか会合に出られない 平日の会合がむずかしい 役員の確保が困難 役員の負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事と両立できる活動体制に 役員を減らす 行事を減らす、整理縮小 代理も可能とする 業者へ委託(奉仕、リサイクル) 	<ul style="list-style-type: none"> 当番制廃止 	
28	教育文化	<ul style="list-style-type: none"> 地域から学ぶ 自然教室 教室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 大洲の歴史を学ぶ なくなる風景を留める サバイバル教室 子供食堂 	<ul style="list-style-type: none"> 祭典を楽しく伝える 昔の写真を残す 技術を持つ人募集 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史ウォークの充実 学習会の検討実施 サークル活動の支援
29	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 昔盛り上がった駅伝がない 球技・種目が決まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 駅伝を開催する 市の駅伝に参加する 住民アンケートで聞く 競技の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 旧町時の駅伝を復活させる 大洲の駅伝チームを結成 サッカー、フットサル、玉入れ ガタリンピック(田んぼ) 体育館での競技 	<ul style="list-style-type: none"> 大須賀駅伝等の検討 競技の見直し
30	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の時間が少ない 夏休み減少、弁当の負担 先生の働き方改革 			
31	学校移転	<ul style="list-style-type: none"> 大洲小移転統合? 横高統合問題 	<ul style="list-style-type: none"> 統合反対運動 大学誘致 		<ul style="list-style-type: none"> 統合問題について検討

5. 第2期5か年計画（令和2～6年度）

◇まちづくり協議会（全体）

<将来像>

～この地に生まれてよかった、この地に住んでいてよかった～

住民が主体となり、協力し合い、健康で文化的な夢と活力にあふれる誰もが住みたくなるよいまち大洲の実現に努めます。

主要目標	継続事業の充実と大洲まちづくり課題推進の中心となる幼稚園跡地の活用について検討し、拠点の確保を図る。また人材を確保し、活動しやすい体制づくりを図る。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む中、安心・安全に暮らせ、子育てしやすい、活気ある地域とするような活動が必要である。 ・小学校の統合問題への取組み
既存事業	ご長寿をお祝いする会、秋の合同式典、地域の安心・安全点検（産廃処分場建設反対運動他）、フェスタおおぶち
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育などの充実、公園の確保、趣味活動の参加誘導及びこれらを実現するため幼稚園跡地の活用 ・人材バンクの整備 ・子供が増える環境作り支援

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
幼稚園跡地の検討	→				
まち協拠点整備			→		
まち協拠点活用 (学童保育、公園、趣味活動)				→	
人材バンクの整備	→				
子供が増える環境作り支援	→				

◇区長会

主要目標	<p>絆で希望のみえるまち” おおぶち”</p> <p>大淵地区まちづくり協議会へ積極的な参画をし、地域全体の課題解決に努める。</p> <p>市行政との連携を密にし、情報の共有とともに早期伝達に努める。</p>
既存事業	<p>① フェスタおおぶち</p> <p>② ご長寿をお祝いする会</p> <p>③ 秋の祭典</p>
課題	<p>1 区長の仕事が多様化し、複雑になる中で、複数年化を進めて行く必要がある。そのために、</p> <p>① 区長の仕事の軽減化（分担化）を行う必要がある。</p> <p>② 継続して複数年化の議論が必要である。（副正と連年で行う方式も含む）</p> <p>2 地区全体が盛り上がるようにまち協としての事業に、区をまとめ、協力・参加が必要である。（以下主要事業）</p> <p>① フェスタおおぶち（区長以外の実行委員の検討も必要である）</p> <p>② ご長寿をお祝いする会</p> <p>③ 秋の祭典</p>
新規事業	<p>1 区長の仕事の軽減化（分担化）</p> <p>2 区長の複数年化の議論</p> <p>3 まち協の地区全体の事業の参加・協力</p>

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
区長の仕事の軽減化(分担化)					→
区長の複数年化の議論					→
地区全体の事業の参加・協力					→

◇地域活性化委員会

主要目標	きれいな環境、笑顔でつがるまち” おおぶち”
あるべき姿	きれいな花があふれ、気軽な挨拶が交わされ、いろいろな情報がすみずみまで伝え合うまち
既存事業	県市道脇花壇整備、道路・河川清掃
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・作業効率をよくするため、水口を1つ増設したい。 ・個人で管理している花壇をまちづくり協議会管理への依頼がある。 ・種から育苗するのは難しい。 ・ボランティア作業員の確保
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県市道脇花壇の全面管理 ・作業体制づくりの検討 ・効果的な花品種の選定

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
県市道脇花壇の全面管理	→	→	→	→	→
作業体制づくりの検討	→	→	→	→	→
効果的な花品種の選定	→	→	→	→	→

努め

があ

むむ)

力・

6



◇交通安全委員会

主要目標	事故と違反のないまち” おおぶち”
あるべき姿	小中高生への幅広い交通指導ができ、高齢者を含め交通事故0が目標
既存事業	春夏秋冬交通安全運動への参画（小中校生への交通指導） 交通安全ポスター・チラシ等広報活動、カーブミラーの清掃・点検 敬老会、歴史ウォーク、フェスタおおぶちの交通指導及び駐車場係
課 題	下校時の交通指導は(防災・防犯委員会)に委ねている。交通安全委員も他の役を受けている者も多く、また会社勤めの人も多いため、下校時の指導は難しい。 現在の事業を継続して行うことが重要である。”
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・年4～5回の朝の交通指導の充実 ・敬老会、歴史ウォーク、フェスタおおぶちの交通指導及び駐車場係 ・地区内の危険個所の把握 ・カーブミラーの清掃・角度の不具合修正等の点検

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
交通指導の充実	→	→	→	→	→
地区内危険個所の把握	→	→	→	→	→
イベントの交通安全協力	→	→	→	→	→
カーブミラーの清掃、点検・不具合修正	→	→	→	→	→

◇防災・防犯委員会

主要目標	安全・安心で住みよいまち” おおぶち”
あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の安全な避難方法が確立し、広域避難所での案内・避難生活が支障なくできること ・同時に減災対策の一環として家具等の転倒防止やブロック塀等の倒壊予防確認等の啓発活動ができること ・子ども対策として日常の青色パトロールの実施
既存事業	地区防災地図の検討や防災訓練へ参画し、広域避難所の防災機材の点検、青色防犯パトロールの実施
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大淵地区防災計画(28年度版)の見直し改訂 2. 女性防災委員の選出(各区2名)と女性目線の防災対策 3. 防災備品の充実 各地区欲しいものが揃っていない 4. 避難訓練の見直し(マンネリ化している) 定期的にまち協全体の防災連絡会の実施 HUG(避難所運営ゲーム)、避難所体験等の検討 地区企業、事業者、小中高生との連携を深める 毎年テーマを決めて実施 高齢者・弱者への対応を強化する 5. 青パトの充実 メンバーの増加(募集、50人くらい) 駐在所との連携
新規事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大淵地区防災計画(28年度版)の見直し改訂 2. 女性目線の防災対策 3. 防災備品の充実 4. 避難訓練の見直し 5. 青パトの充実

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
1. 大淵地区防災計画(28年度版)の見直し改訂			→		
2. 女性目線の防災対策					→
3. 防災備品の充実					→
4. 避難訓練の見直し					→
5. 青パトの充実					→

◇教育・文化委員会

主要目標	みんなで学び高め合うまち” おおぶち”
あるべき姿	地域のみinnで子どもを育て、地域のみinnで伝統・文化を守る。
既存事業	夏休み子ども社会見学体験やラジオ体操 歴史ウォークの実施、成人硬筆教室
課題	1 大淵地区のよき風景が失われていく中で、昔の風景を保存する必要がある(写真) 2 サバイバル教室(ロープの結び方、火の使い方)の要望があった。 3 歴史ウォークで大須賀地区をほぼ回り終えた。 4 社会見学で行く工場の選定に苦労する。
新規事業	1 昔の写真を収集し、展示(フェスタおおぶち等)・保存する。 2 サバイバル教室の実施 3 歴史ウォークを他地区(大東、掛川)へも広げていく 4 工場見学の可能な受け入れ事業所を5、6か所選定し、ローテーション実施を検討

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
昔の風景写真等の収集・展示					→
サバイバル教室の実施					→
歴史ウォークの充実					→
工場見学の効率的実施検討					→

◇スポーツ委員会

主要目標	スポーツで交流、協力、笑顔あふれるまち” おおぶち”
あるべき姿	スポーツを通して交流が図られ、協力し合えるまちとなり、みんなでスポーツが楽しめ、健康につながり笑顔あふれるまち
既存事業	グラウンドゴルフ大会、ソフトボール大会、輪投げ、歴史ウォークの運営補助
課題	各イベントの開催を継続させるために、地区からの参加者を増やして維持し、住民同士の交流を活性化させる。
新規事業	<p>各区及び各関係団体からの呼びかけを行うことにより、イベント参加者を増加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会(参加者拡大) ・輪投げ大会(参加者拡大) ・ソフトボール大会(8チーム確保) ・競技の見直し、新競技の検討

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
グラウンドゴルフ大会(参加者拡大)	→	→	→	→	→
輪投げ大会(参加者拡大)	→	→	→	→	→
ソフトボール大会(8チーム確保)	→	→	→	→	→
競技の見直し、新競技の検討	→	→	→	→	→

◇保健委員会

主要目標	健康で笑顔あふれるまち” おおぶち”
あるべき姿	適度な運動をして健康づくりに寄与できる講座に関する広報や健康診断への参加を促す広報活動の充実
既存事業	各種講座の広報及び市の検診や健康フェアに協力参加、フェスタおおぶちでの健康講座開催
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ご長寿をお祝いする会の準備、当日に委員も参加し、高齢者の状況を把握する。 2. 講座への参加呼びかけを強化し、多くの参加者を募る。 3. 大勢の参加が見込まれる「フェスタおおぶち」において、健康講座を実施することで、多くの人達に健康への関心を持たせる必要がある。
新規事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. ご長寿をお祝いする会への参加協力 2. 講座への参加呼びかけ強化 3. フェスタおおぶちでの健康講座開催、保健師等の参加協力

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
ご長寿をお祝いする会への参加協力					→
講座への参加呼びかけ強化					→
フェスタおおぶちでの健康講座開催(保健師等の参加協力)					→

◇福祉委員会

主要目標	ふだんのくらしのしあわせをめざすまち” おおぶち”
あるべき姿	サロンの充実により健康寿命が向上し、高齢者と子供たちとのふれあいが育まれ、また独居高齢者の見守りも推進され、挨拶と笑顔があふれるまち
既存事業	川東、川西、合同サロンの実施や高齢者と幼・保育園児との交流 独居高齢者見守り隊の推進や長寿を祝う会への参画
課 題	1. ボランティアを増やすためのPRの充実を図る 2. サロン開催日の健康度チェックの検討 3. 福祉委員会会則の内容検討
新規事業	1. ボランティアを増やすため広報「おおぶち」に掲載 2. ボランティアによる血圧測定、体操・運動の実施 3. 企画部会は年3回以上開催する。 会則の制定、改廃及び役員を選出に関する事

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティアの拡充	→	→	→	→	→
血圧測定・体操・運動	→	→	→	→	→
企画部会を年3回以上開催	→	→	→	→	→

◇有害鳥獣対策委員会

主要目標	鳥獣とうまく共存し安心して暮らせる” おおぶち”
あるべき姿	鳥獣はあくまで山間地域内で活動し、人間の居住地域に出没し被害を与えないことが望ましい。また人間も無用に関与することなく鳥獣の生存環境の保全に努める。
既存事業	<ul style="list-style-type: none"> ・被害届の提出要請 ・有害鳥獣の捕獲用檻の作成及び設置 ・捕獲有害鳥獣の対応
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害、交通事故、人身事故の増加への危機意識を住民に浸透させる ・狩猟免許者を確保していく。 ・残飯や不要な農作物が餌とならないよう処分することを啓蒙していく。 ・イノシシ増加の1要因としての荒地、荒林の減少への取組み。
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への現状の周知と危機意識の浸透 ・狩猟免許取得の推進 ・被害届の提出に伴う捕獲対策の推進

年度別計画

新規事業	R2	R3	R4	R5	R6
住民への現状の周知と危機意識の浸透					→
狩猟免許取得の推進					→
被害届の提出に伴う捕獲対策の推進					→